

XL-C3100 設置ガイド

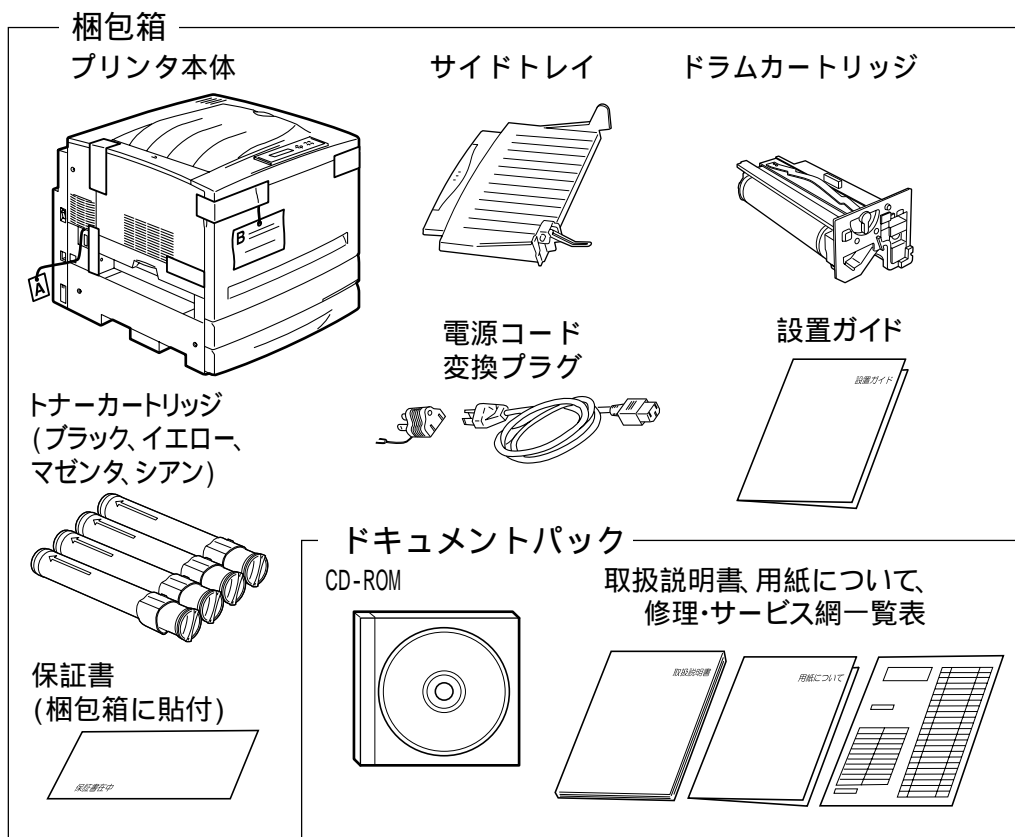
このたびは、弊社のカラーページプリンタXL-C3100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。以下の手順にそってプリンタを設置してください。詳しくは取扱説明書の「第1章 お使いになる前に」～「第5章 プリンタドライバのインストールと設定」をご覧ください。

2000年11月 初版発行
富士通株式会社

製品の確認

製品を梱包箱/袋から取り出し、下図のとおり揃っていることを確認してください。プリンタケーブル/LANケーブルや用紙は含まれておりません。別途お買い求めください。

万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。



持ち運びかた

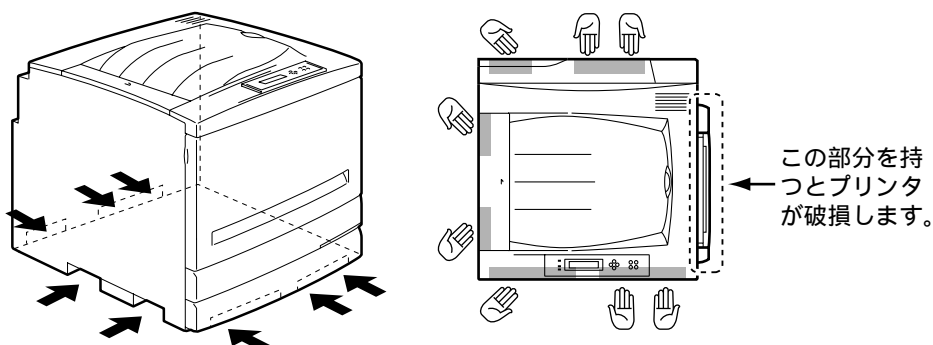
プリンタを設置場所に移動する際には、次のような点に注意して持ち運んでください。

必ず4人以上で持ち運んでください。

⚠ 注意

け が プリンタの質量は、消耗品、用紙カセットがセットされている状態で約75kgです。必ず4人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

け が プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

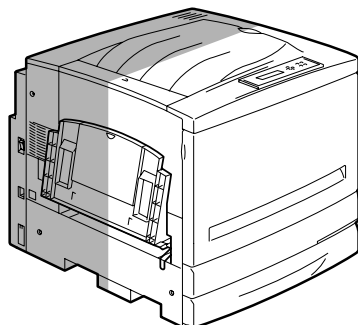


水平にして持ち運んでください

プリンタを前後、左右方向に10度以上傾けないでください。故障の原因となります。

プリンタの重さについて

本プリンタはフロントカバー側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬時には重さの違いに注意してください。



オプションの取り付け

本プリンタには以下のオプションがあります。テープとスペーサを取り外した後に取り付けるものと、トナーカートリッジ/ドラムカートリッジを取り付け後に取り付けるものがあります。

テープとスペーサを取り外した後に取り付けるもの

・拡張給紙ユニット ・ プリンタキャビネット

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジ取り付け後に取り付けるもの

・ 両面ユニット ・ プリンタLANアダプタ ・ プリンタRAMモジュール

テープとスペーサの取り外し

輸送時の振動および衝撃から本プリンタを守るため、梱包箱から取り出した本プリンタは、カバーの開閉部分をテープ止めされたり、各部にスペーサが取り付けられていたりしています。プリンタを設置したら、まず各部のテープとスペーサを取り外してください。

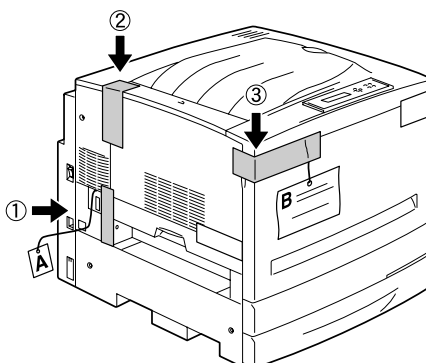
お願い

テープやスペーサが残ったままプリンタを使用すると、紙づまりや故障の原因となることがあります。必ず、次の手順に従って、全てのテープとスペーサを取り外してください。

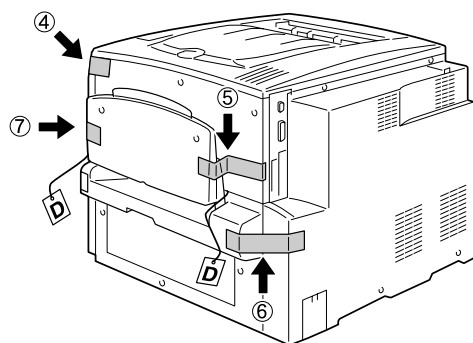
テープを取り外す

以下の9か所がテープ止めされています。下図を参照し、すべてのテープをはがしてください。

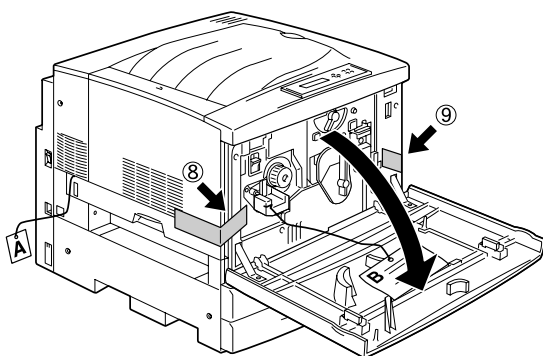
プリンタ本体左側(3か所)



プリンタ本体右側(4か所)



フロントカバー内側(2か所)



スペーサを取り外す

本プリンタには、6種類7個のスペーサと4個のトナーカバーが取り付けられています。全てのスペーサとトナーカバーを取り外してください。

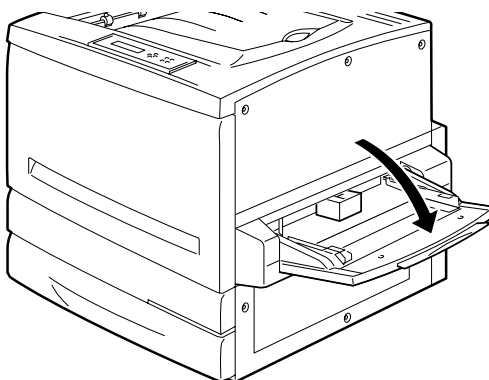
お願い

B、C、D、E、Fと書かれたスペーサは、プリンタを長距離移動するときに必要です。なくさずに保管しておいてください。

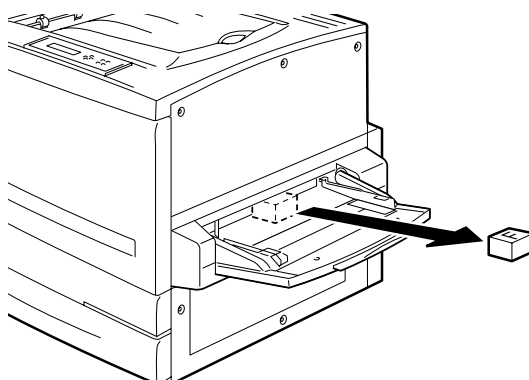
手差しトレイのスペーサを取り外す

次の手順に従って、手差しトレイのスペーサを取り外します。

手差しトレイを開く



図の位置にあるスペーサ(F)を取り外す



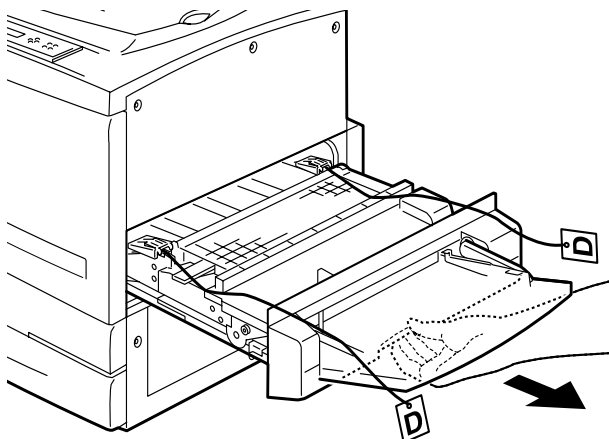
ガイド

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサ(F)を保管しておいてください。

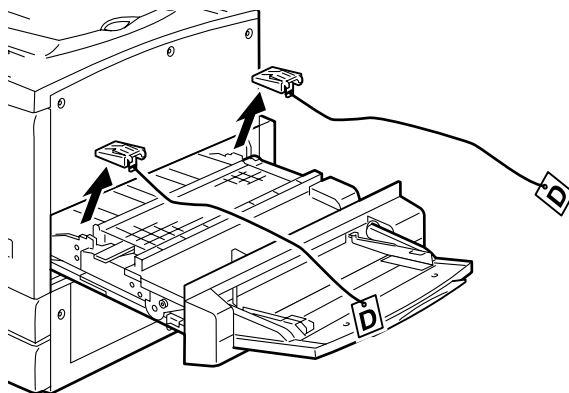
手差しユニットのスペーサを取り外す

次の手順に従って、手差しユニットのスペーサを取り外します。

手差しユニットを、止まるまでゆっくりと引き出す



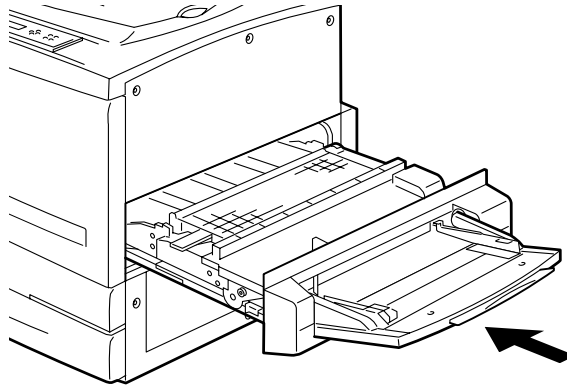
図の位置にあるオレンジ色のスペーサ(D)を引き抜いて外す



ガイド

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサ(D)を保管しておいてください。

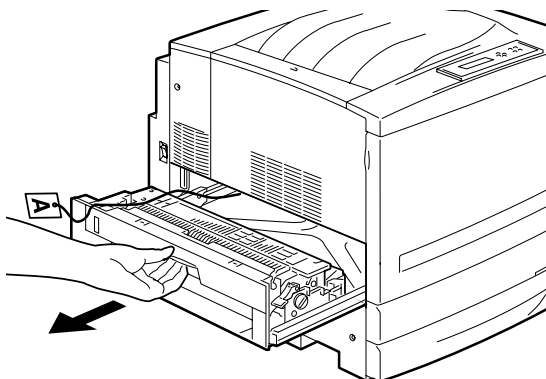
手差しユニットをプリンタの奥までしっかり押し込む



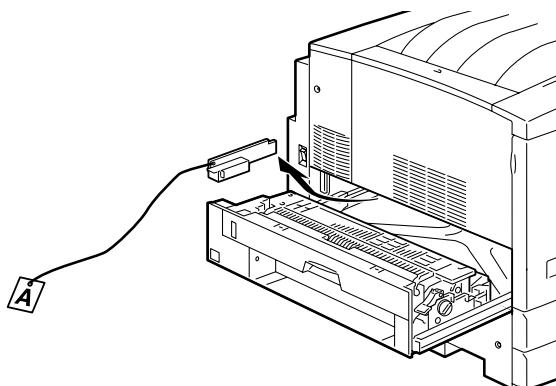
左下ユニットのスペーサを取り外す

次の手順に従って、左下ユニットのスペーサを取り外します。

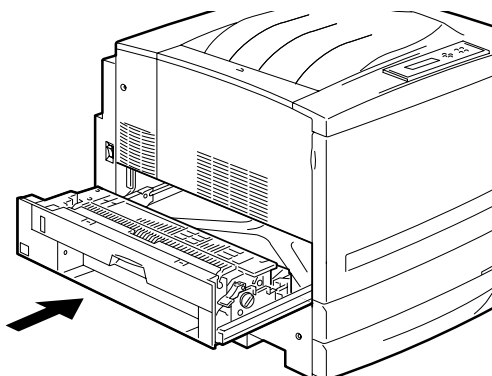
左下ユニットを、止まるまでゆっくりと引き出す



左下ユニットの奥にあるスペーサ(A)を、スペーサに付いてる紐を引いて取り外す



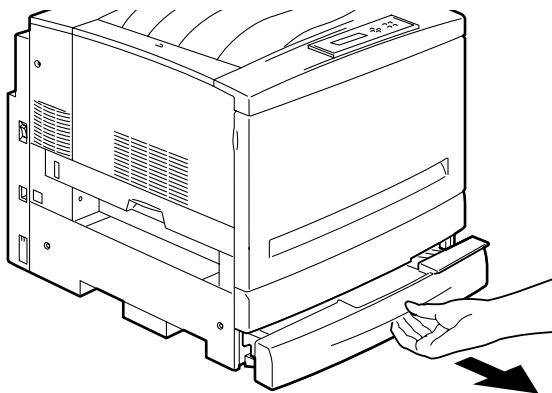
左下ユニットをプリンタの奥までしっかり押し込む



用紙トレイのスペーサを取り外す

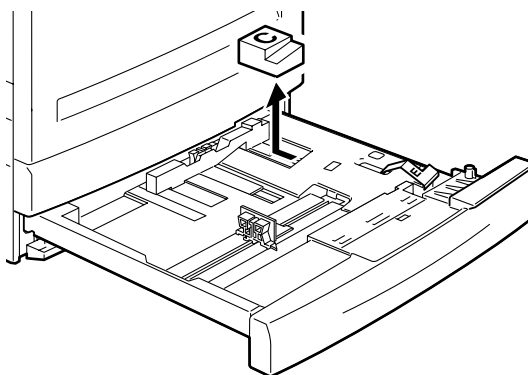
次の手順に従って、用紙トレイのスペーサを取り外します。

用紙トレイを、止まるまで手前に引き出す

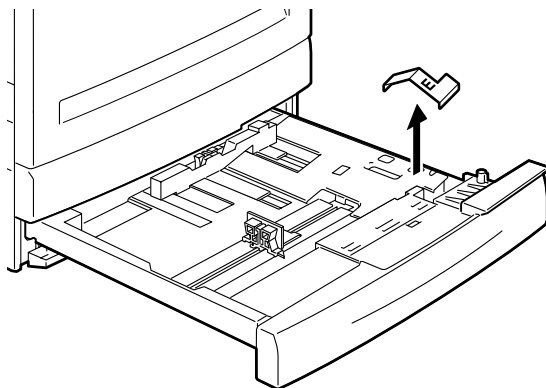


図の位置にあるスペーサ(C)を取り除く

このスペーサはL字型をしているので、いったんプリンタの奥側にずらしてから、上に持ち上げてください。



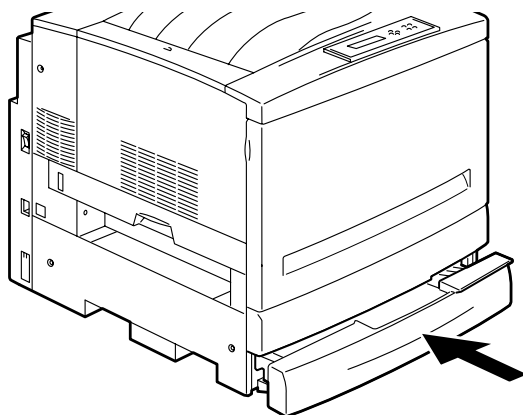
図の位置にあるスペーサ(E)を取り除く



ガイド

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサ(C)および(E)を保管しておいてください。

用紙トレイを、プリンタの奥までしっかり押し込む

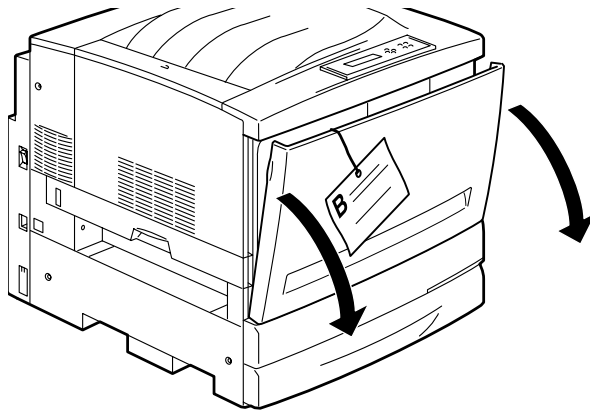


お願い

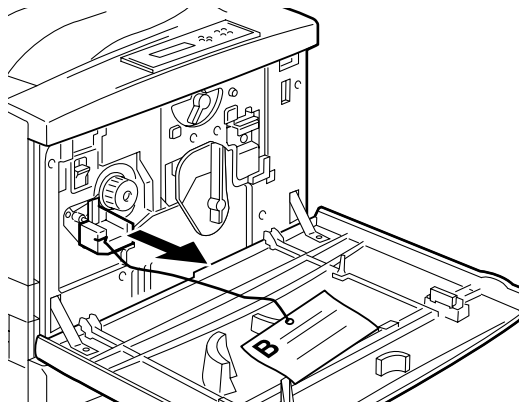
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

トナーカートリッジ取り付け口のスペーサとトナーカバーを取り外す
次の手順に従って、トナーカートリッジ取り付け口のスペーサとトナーカバーを取り外します。

フロントカバーを開ける



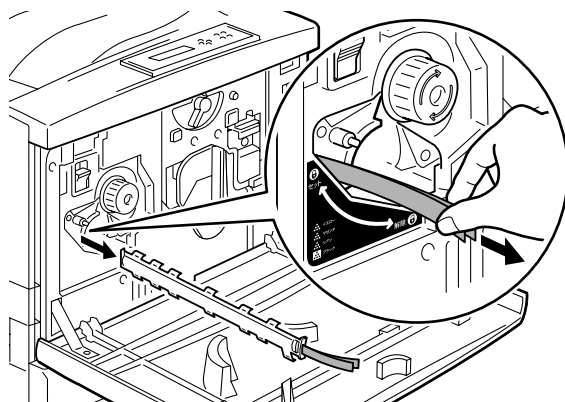
図の位置にある回転止めスペーサ(B)を引き抜いて外す



ガイド

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサ(B)を保管しておいてください。

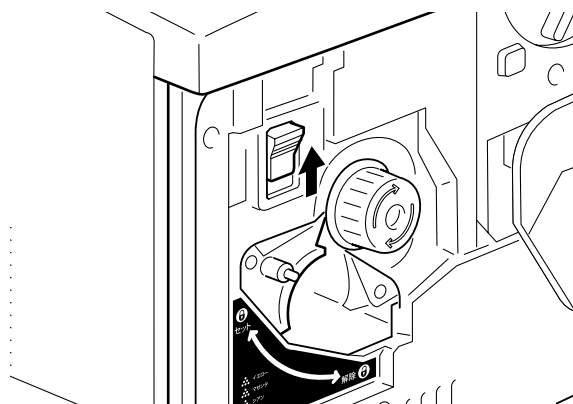
トナーカートリッジ取り付け口にあるトナーカバー(G)を、先端の取っ手を引っ張って外す



ガイド

トナーカバーは、4つのトナーカートリッジ取り付け口それぞれに取り付けられています。次の手順で残りの3個も取り外してください。

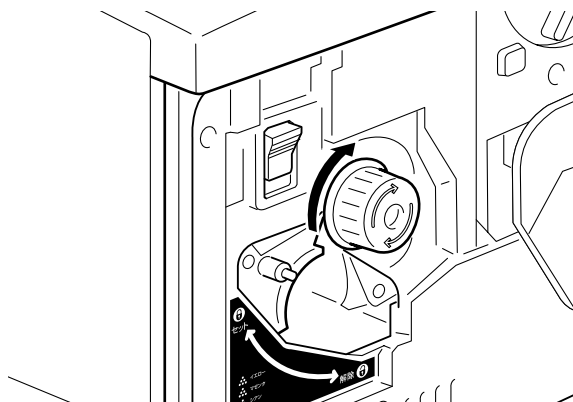
回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す



お願い

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

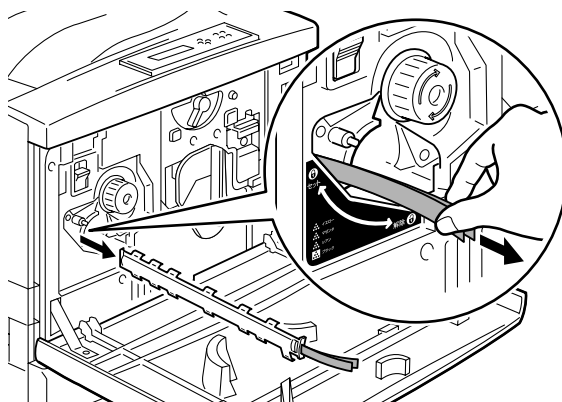
ノブを矢印の方向に止まるまで、ゆっくりと回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させる



ガイド

ノブを回すと「カチッ」と音がして、回転防止スイッチが下がります。

正面に移動してきたトナーカバー(G)を、先端の取っ手を引っ張って外す



手順 ~ の操作を繰り返し、4個のトナーカバー(G)をすべて取り外す

これでテープとスペーサの取り外しは終了です。

オプションの拡張給紙ユニットまたはプリンタキャビネットがある場合は、各オプションの取扱説明書を参照して取り付けてください。オプションがない場合は、続けてトナーカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の「トナーカートリッジの取り付け」に進んでください。

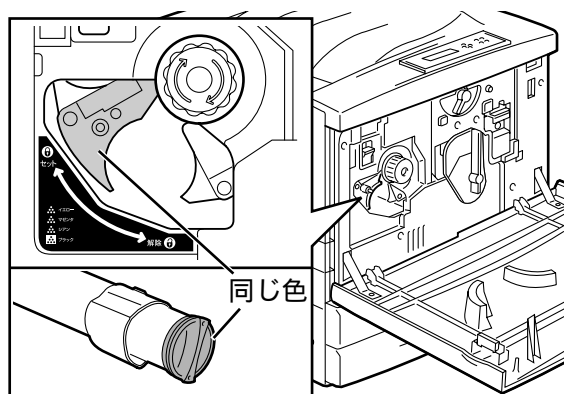
トナーカートリッジの取り付け

続いて、トナーカートリッジを取り付けます。

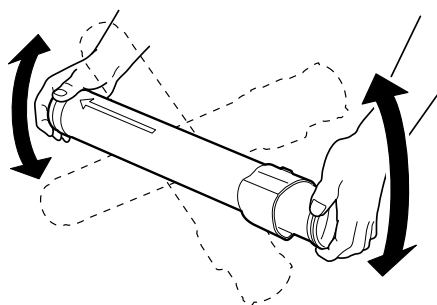
お願い

トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときには、すぐに洗い流してください。

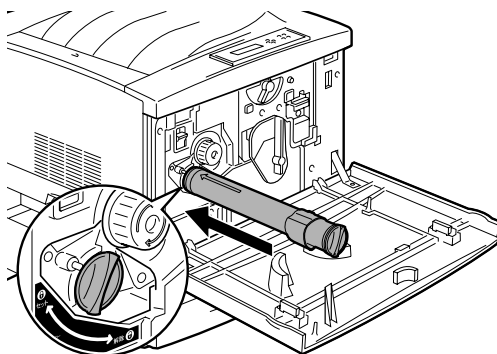
差し込み位置の色と同じ色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出す



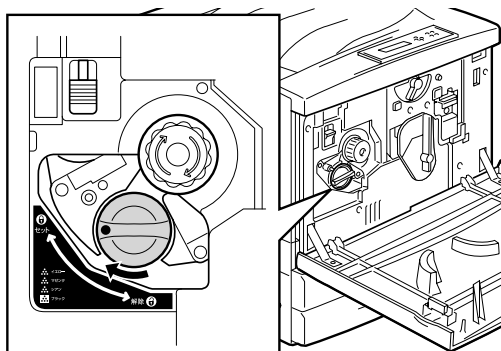
図のように7～8回振り、中のトナーを均一にする



トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、プリンタの奥に突き当たるまでしっかり差し込む



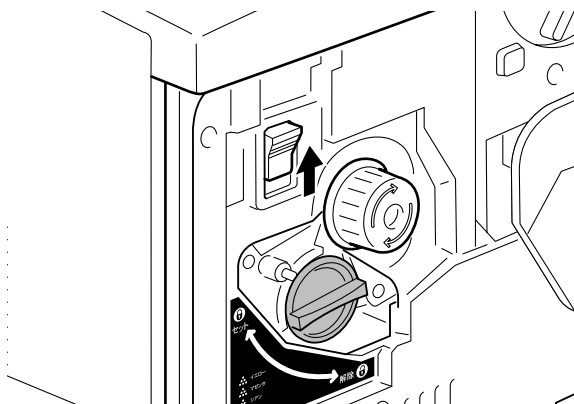
トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「」印をプリンタ側の「セット」(🔒)に合わせる



お願い

トナーカートリッジは最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。

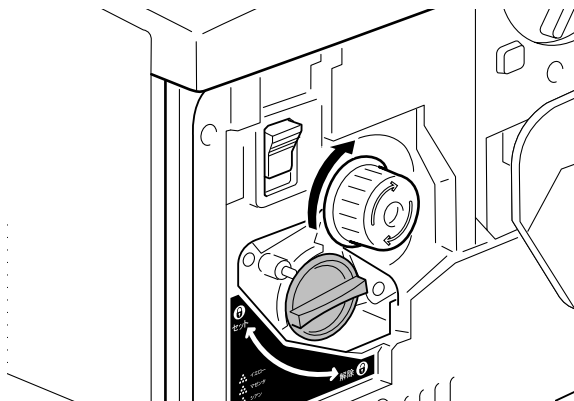
回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す



お願い

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

ノブを図の矢印の方向に止まるまで、ゆっくりと回し、セットしたトナーカートリッジを移動させる



お願い

- ・トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。
- ・ノブを回すときは、ゆっくり回してください。



ガイド

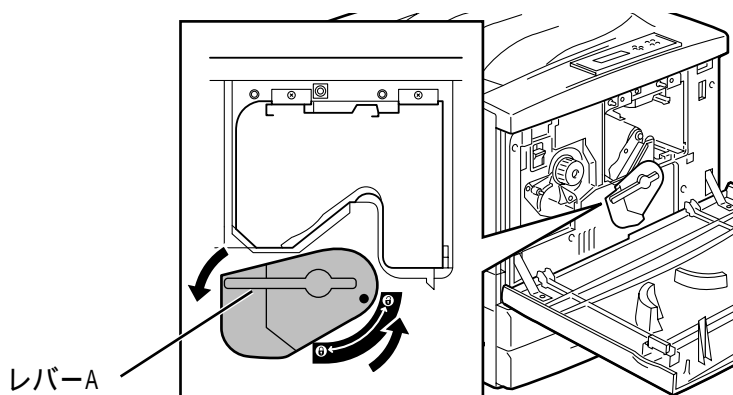
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

残り3つのトナーカートリッジについても同様に、手順 ~ の操作を行う
ただし、最後のトナーカートリッジについては手順 、 の操作は不要です。
これでトナーカートリッジの取り付けは終了です。続けて、ドラムカートリッジを
取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の「ドラムカートリッジの取り付
け」に進んでください。

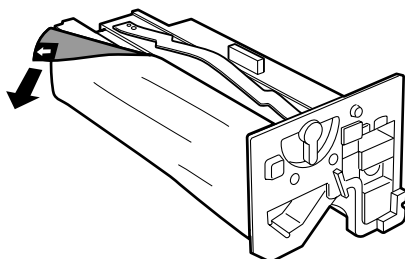
ドラムカートリッジの取り付け

続いて、ドラムカートリッジを取り付けます。

オレンジ色のレバーAを図の矢印の方向に回し、「」印を解除位置()に合わせる



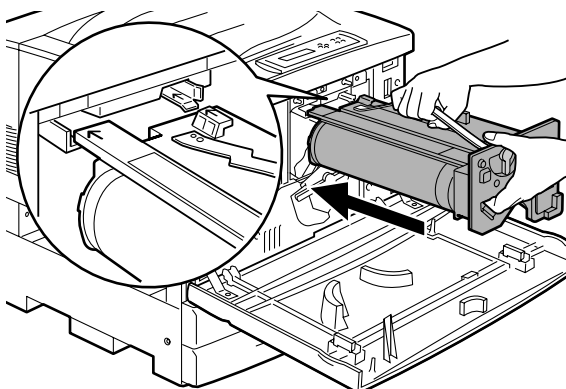
新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを銀色の矢印部分を引っ張ってはがす



お願い

- ・ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつかけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に、傷、手の脂、または汚れなどがつくと、印刷結果が悪くなります。
- ・保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。

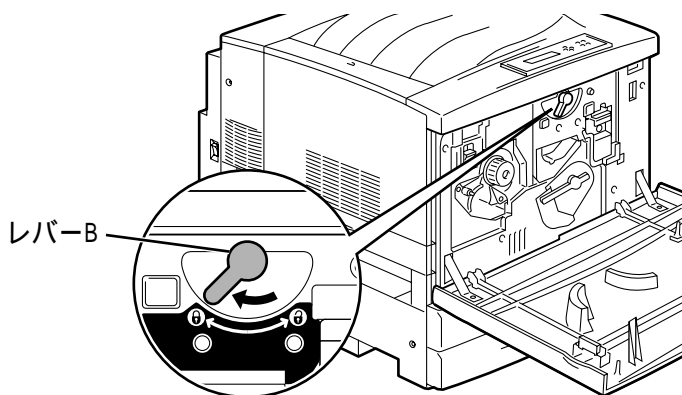
ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンタ本体のレールに載せて、プリンタの奥までしっかり押し込む



お願い



- ・ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに載っていない状態で挿入すると、カートリッジを破損する原因になります。
- ・ドラムの表面(青色)が、他の部品に接触しないように注意してください。

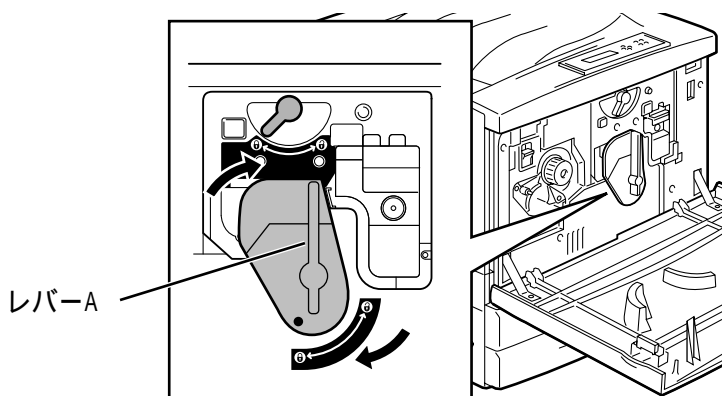
レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置(🔒)に合わせる



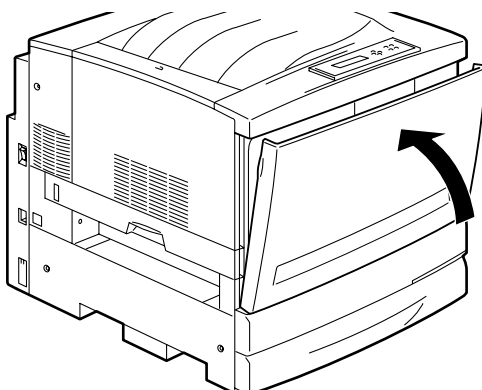
お願い

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。

レバーAを図の矢印の方向に回し、「」印をセット位置()に合わせる



フロントカバーを閉じる



お願い

ドラムカートリッジの取り付け口にある、レバーA、Bが正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、Bがセット位置に合っているかどうかを確認してください。

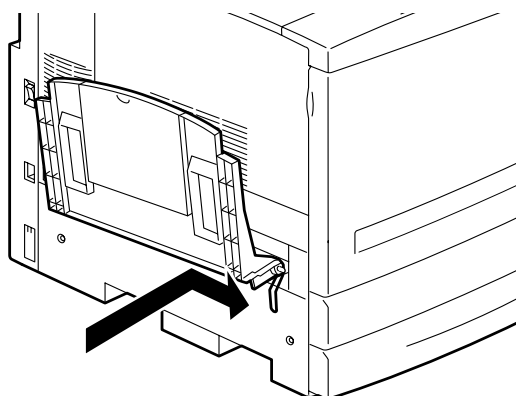
サイドトレイの取り付け

続いて、サイドトレイを取り付けます。

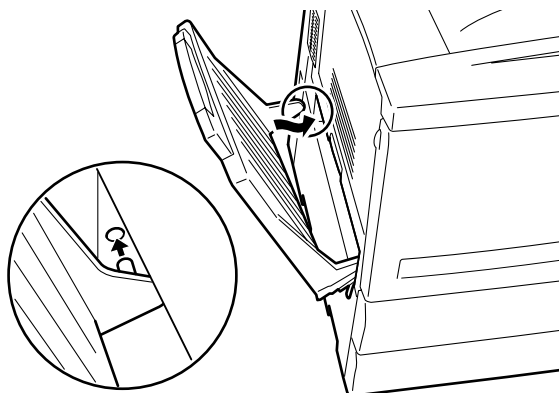
オプションの両面ユニットがある場合は、まず両面ユニットを取り付けてください。その後、両面ユニットにサイドトレイを取り付けてください。オプションのプリンタRAMモジュールがある場合は、サイドトレイの取り付け後、取り付けてください。両面ユニットについては添付の取扱説明書を、プリンタRAMモジュールについてはプリンタ本体の取扱説明書を参照して取り付けてください。

サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む

このとき、金属部分をプリンタの中に入れないで、トレイの下側に出すようにしてください。



サイドトレイ左側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む



お願い

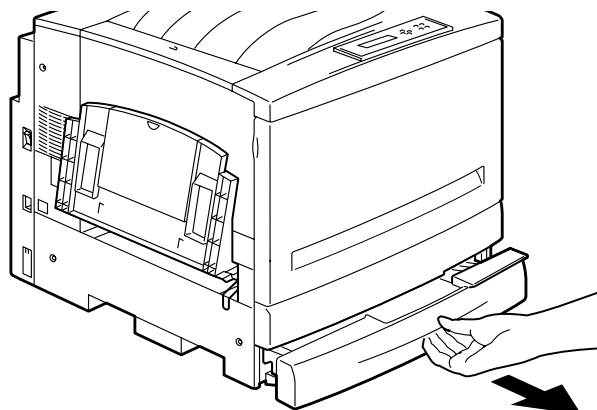
サイドトレイの突起部は、破損しやすいので注意してください。

用紙のセット

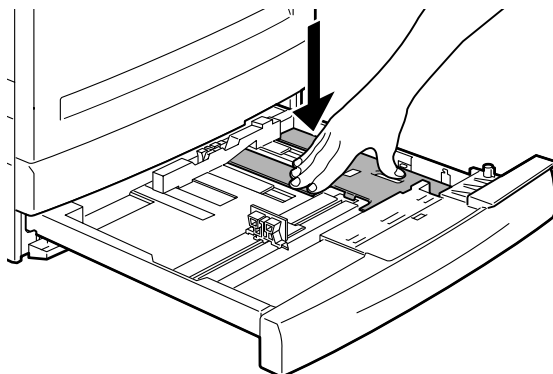
続いて、用紙トレイに用紙をセットします。

ここでは、A4サイズの下紙を縦置きにセットする(本書では「A4サイズ縦」と記載)例で説明します。使用できる用紙や手差しトレイに用紙をセットする方法は、取扱説明書「第6章 日常のメンテナンス」を参照してください。

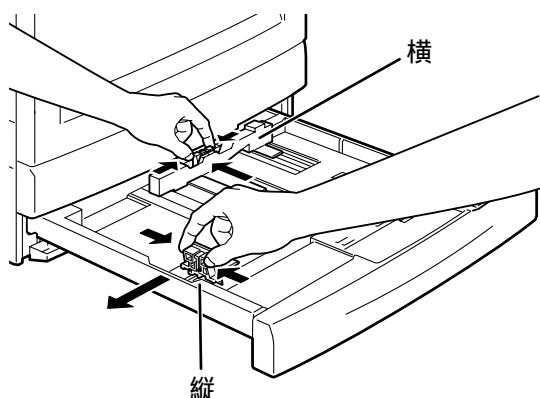
用紙トレイを止まるまで手前に引き出す



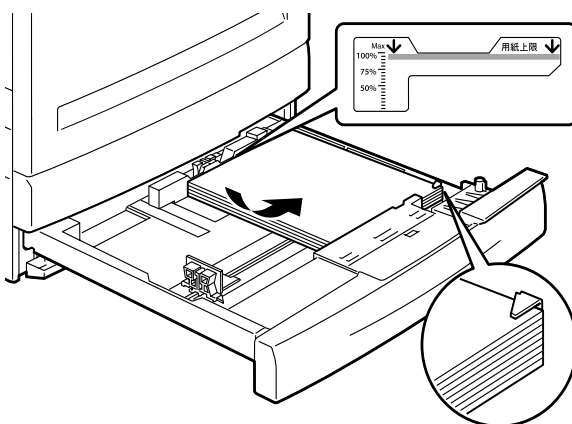
用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定する



縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらす
縦の用紙ガイドは左側いっぱいまでずらしてください。



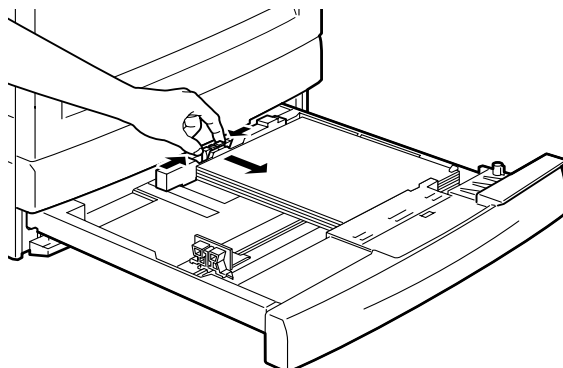
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして、右手前側にあるツメの下に用紙をセットする



お願い

- ・折り目やシワが入った用紙、反りが大きい(カールしている)用紙は使用しないでください。
- ・最大収納枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- ・用紙はツメの下にセットし、ツメの上に載せないようにしてください。

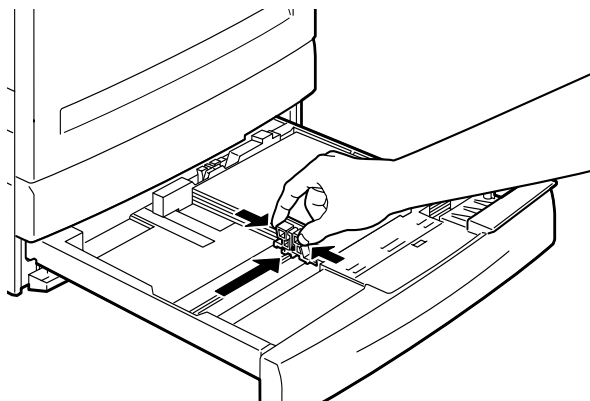
横の用紙ガイドを紙の幅に合わせる



お願い

用紙ガイドを用紙に強く押しつけると、紙づまりの原因となります。逆にゆるすぎると、紙のねじれの原因となります。

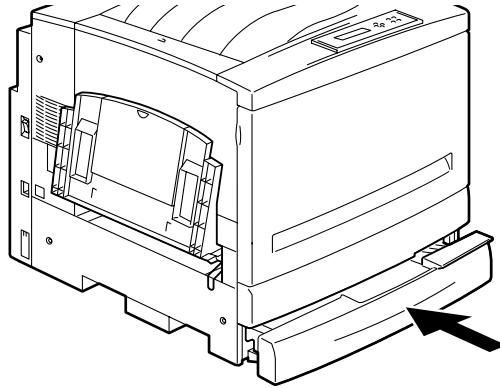
用紙の端をそろえた後、縦の用紙ガイドの先端(▽)を用紙サイズ目盛りに合わせる



お願い

- ・縦の用紙ガイドのストッパが目盛りの溝にぴったりはまっていることを確認してください。
- ・縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときは、いったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

用紙トレイを、プリンタの奥までしっかり押し込む




お願い

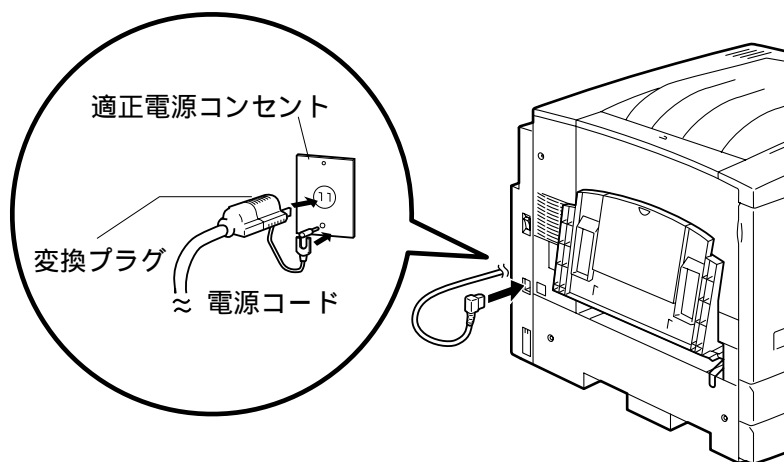
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

電源の投入

電源コードを接続し、電源を入れてプリンタが正常に動作することを確認します。

プリンタ本体左側面にある電源スイッチが「」側に倒れていることを確認する

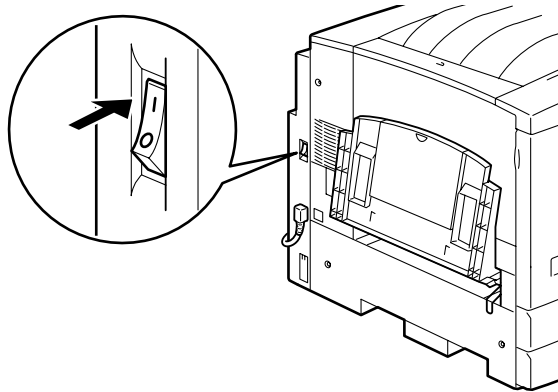
電源コードをプリンタ本体左側面にある電源コードコネクタに接続し、もう一方を電源コンセントに差し込む



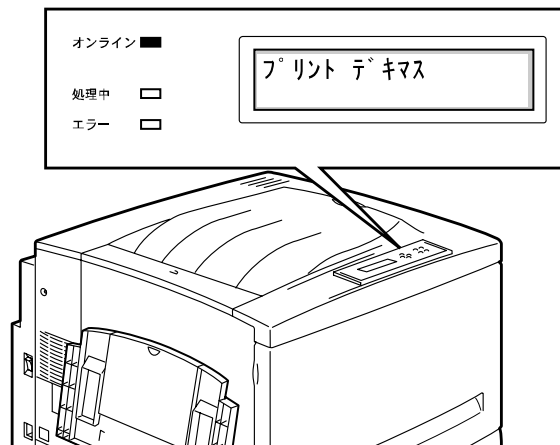
お願い

本プリンタには平行3ピンの電源コードが添付されています。できるだけ3ピンのコンセントをご使用ください。
もし、3ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

プリンタ本体左側面にある電源スイッチを「|」側に倒して、電源を投入する



初期化動作後、オペレータパネルの表示が「プリント デキマス」に変わり、
〔オンライン〕ランプが点灯することを確認します。



ガイド

オペレータパネルに「オマチクダサイ」と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。

お願い

エラーメッセージが表示された場合は、取扱説明書の「第9章 こんなときには」を参照してください。

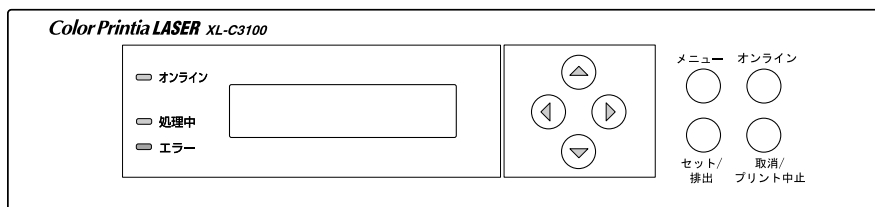
プリンタ単体の動作確認

プリンタが正しく設置されたことを確認するため、オペレータパネルからプリンタ設定リストを印刷します。

プリンタが正しく印字できること、およびオプションが取り付けられている場合には、正しく設置できたかどうかを確認できます。

オペレータパネルの基本的な操作については取扱説明書「第7章 オペレータパネルの操作」、詳細については取扱説明書「第8章 設定値を変える」を参照してください。

オペレータパネル上のボタンと基本的な使いかた



プリンタの設定は、液晶ディスプレイにメニュー画面を表示しています。メニュー画面はいくつかの階層で構成されています。メニュー画面での操作には次のスイッチを使用します。

- ・メニュー画面を表示するには
〔オンライン〕スイッチ 〔メニュー〕スイッチ
- ・メニュー画面を終了する、設定を中断する、最初からやり直すには
〔オンライン〕スイッチ
- ・別のメニューや項目を表示したいときは
〔 〕、〔 〕、〔▶〕、〔◀〕スイッチ
- ・表示されているメニューを選択して、1つ下の階層に移るには
〔セット/排出〕スイッチ
- ・1つ上の階層に戻るには
〔取消/プリント中止〕スイッチ
- ・設定を確定するには
〔セット/排出〕スイッチ（確定した値には「*」が付きます。）
- ・工場出荷時の値にするときは
〔 〕 + 〔 〕スイッチ（同時に押す。）

プリンタ設定リストの印刷方法

次の手順でプリンタ設定リストを印刷します。

お願い

プリンタ設定リストは、A4サイズ縦の用紙に印刷されます。用紙トレイにA4サイズ縦の用紙をセットしてください。

オペレータパネルが以下の状態であることを確認する

プリント デキマス

〔オンライン〕スイッチを押す

オフライン状態になります。

オフラインチュウデス

〔メニュー〕スイッチを押す

メニュー画面が表示されます。

メニュー
1 システム

〔 〕スイッチを3回押す

メニュー
4 レポート/リスト

〔セット/排出〕スイッチを1回押す

4 レポート/リスト
プリンターセッティリスト

〔セット/排出〕スイッチを1回押す

フ° リンターセッテイリスト
フ° リント デ° キマス

〔セット/排出〕スイッチを1回押す

フ° リンターセッテイリスト
フ° リント シテイマス トレイ1

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

お願い

プリンタ設定リストが印刷されない場合は、電源を切り、電源を入れ直してください。オペレータパネルの液晶ディスプレイに「プリント デキマス」と表示されたら、再度プリンタ設定リストを印刷します。それでも印刷されない場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

プリンタ設定リストの印刷例

オプションを取り付けた場合は、内容を確認してください。

XL-C3100

プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	2613ページ
ドラムカウンター	24250count
搭載メモリ	256Mbyte
搭載プリンター言語	200010181534
搭載フォント数	和文4書体 欧文15書体
F/Wバージョン	200010231313
IOTバージョン	1. 4. 64

オプションの
情報が印刷さ
れます。

オプション

用紙トレイ	トレイ1、2、3、手差し
拡張給紙ユニット	2段(1. 0. 7)
両面ユニット	あり(1. 0. 1)

パラレル

Busy-Ack	Ack-Busy
ECP	無効

外部との接続

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルでプリンタの平行インタフェースとパソコンを直接接続します。

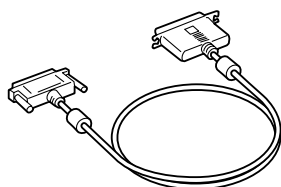
オプション品のプリンタLANアダプタ(FM-LNA110)を取り付けて、ネットワークプリンタとして使用する場合は、LANケーブルでプリンタをネットワークに接続します。

ガイド

本プリンタではプリンタケーブルとLANケーブルを同時に接続して使用できません。

プリンタケーブルを接続する

次の手順に従って、プリンタケーブルを接続します。プリンタケーブルはプリンタおよびパソコンに合ったものを用意してください。



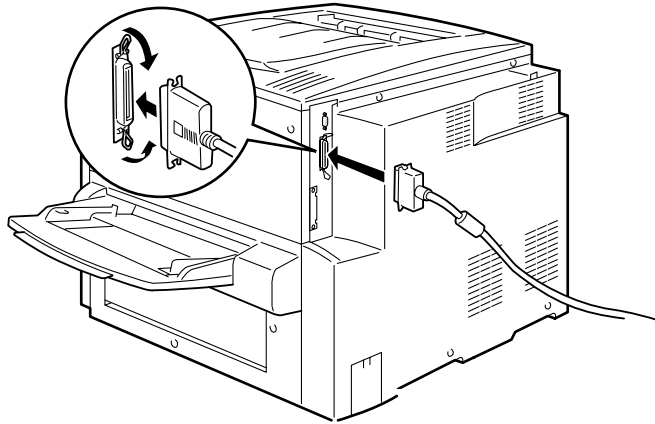
ガイド

本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。(取扱説明書「第1章 お使いになる前に」の「オプション品」参照)

プリンタとパソコンの電源が切断されていることを確認する

プリンタ本体背面のプリンタケーブルコネクタにプリンタケーブルを差し込んで接続する

差し込んだ後、両側のワイヤクリップで固定します。



パソコンのプリンタケーブルコネクタに、プリンタケーブルを差し込んで接続する

ガイド

パソコン側の説明は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

プリンタとパソコンの電源を入れる

LANケーブルを接続する

オプションのプリンタLANアダプタ(FM-LNA110)がある場合は、取り付けます。取り付け方、使用方法については、プリンタLANアダプタに添付の取扱説明書を参照してください。

ここでは、LANケーブルの接続のしかたを説明します。LANケーブルを接続することにより、プリンタをネットワークに接続できます。

プリンタLANアダプタが対応しているLANインタフェースは以下のとおりです。

- ・ 10BASE-T(半二重モード、全二重モードに対応)
- ・ 100BASE-TX(半二重モード、全二重モードに対応)

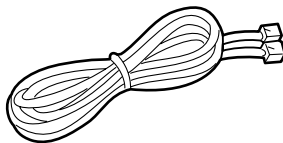
ガイド

10BASE-Tと100BASE-TXは自動的に切り替わります。

LANケーブルは使用しているネットワークに合ったツイストペアケーブルを用意してください。

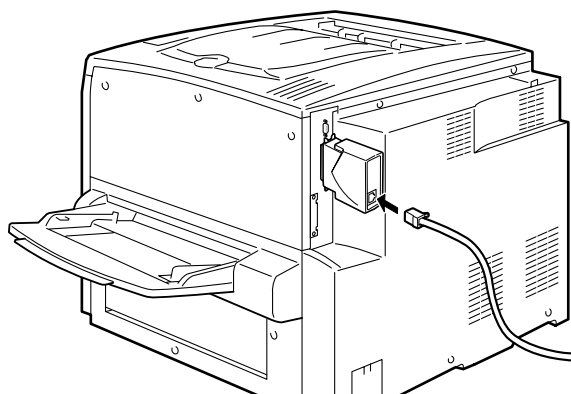
ガイド

100BASE-TXの場合は、カテゴリ-5のケーブルが必要です。



プリンタの電源が切断されていることを確認する

プリンタLANアダプタのLANインタフェースコネクタにLANケーブルを接続する



プリンタの電源を入れる

ソフトウェアの設定

CD-ROMから必要なソフトウェアをインストールし、設定を行います。

設定手順は「外部との接続」(32ページ)での接続方法によって異なります。取扱説明書のそれぞれの手順を参照してください。

プリンタケーブルで接続の場合

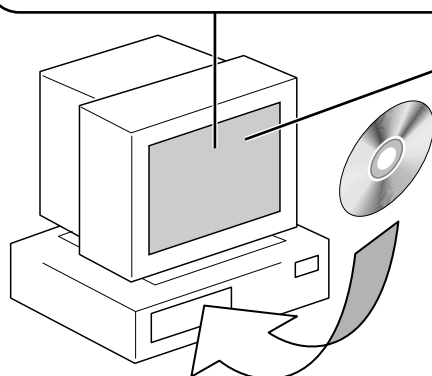
Printia XLドライバをインストールします。

取扱説明書「第5章 プリンタドライバのインストールと設定」を参照してください。

LANケーブルで接続の場合

プリンタのネットワーク設定に必要なソフトウェアをインストールします。(LANアダプタに添付されています。)

詳細はFM-LNA110の取扱説明書を参照してください。



CD-ROMをパソコンに
セットしてください。

設定が終わったら、テスト印字が正常に印刷されることを確認します。

正常に印刷されない場合は、取扱説明書「第9章 こんなときには」を参照してください。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

B5WY-0111-01-00